

# 10代のあなたに読んでほしい オススメ図書



毎年、6月23日から29日は「男女共同参画週間」です。今年は“だれもがどれも選べる社会に”をテーマに司書が選書した関連図書の展示を市内図書館5館にて開催しました。

展示図書の中から、オススメ図書をご紹介します。市内図書館や男女平等推進センター「パリテ」の図書コーナーで貸し出ししていますので、ぜひご利用ください。



10代から知っておきたい  
女性を閉じこめる  
「ずるい言葉」

WAVE出版  
森山至貴 著



これからの男の子たちへ  
「男らしさ」から  
自由になるためのレッスン

大月書店  
太田啓子 著



ひとりひとりの「性」を  
大切にできる社会へ

新日本出版社  
遠藤まめた 著



日本のヤバい女の子  
静かなる抵抗

柏書房  
はらだ有彩 著

## 企画運営委員さんに 聞いてみました 西東京市 第5次男女平等参画 推進計画について

男女共同参画は男女の平等にとどまらず、西東京市で困っている全ての人たちがいろいろな形で支援を受けて、西東京市に住んでいて本当に良かったと思ってもらえるのが大きな目標だと思います。今回の計画を男女共同参画にとどめず、市民が一人丸となってより住みやすい西東京市と一緒に作ってまいります。 寺澤委員

この情報誌を読んで、第5次計画を勉強します。老若男女問わず、市民が一人ひとりで活躍できる社会に寄与できる講座を企画したいと思いますので、皆様も奮ってご参加いただけますと光栄です。 秦委員

予測不可能な社会情勢の変化の中では、一人ひとりに明日は我が身の覚悟が必要。人権と多様性はより守られ、困難女性はより支援されてほしい。パリテを拠点に第5次計画が策定・進行していくことを嬉しく思います。 佐藤優子委員

基本理念がわかりやすく、目標が多様な分野で計画されています。私は男女平等参画社会の実現には、幼少期からの人権教育と発達に応じたからだ性の教育が大切で、それが相手の理解や思いやりへつながると思います。 内海委員

第5次計画を読みました。いろいろな課題はありますが子育てへの支援を中心に、講座などを考えていきたいです。子育ては昔より大変になっていると感じます。お母さんの孤立感が大きく、相談できる人がいないと更に辛くなりイライラにつながる悪循環。お母さん同士がつながり笑顔で生きる事が出来れば、子ども達は健やかに育ち、人権も守られと思います。 佐藤鹿子委員

まず表紙のデザインが素敵だと思います。尋ねると「多様な色と形が集まる1つの円」とのこと。性別も年齢も人種も多様な人たちが集まる象徴です。豊かな土壌を持つ西東京市が多様性豊かになれば素敵だと思います。 大森委員

私たちは固定的性別役割分担意識の積極的解消に取り組むべきです。なぜならこの意識が男女平等に関する差別、女性の活躍推進の機会を奪っているからです。特に、家庭内における父親、母親の役割分担はすぐに意識変革を起こせるのに、女性自身が「相談するほどのことではない」と思ったりDVを認識していない、慣習というルールに縛られていることに気がついていないケースも多いようです。男女平等参画にかかわるものとして、まずこの意識改革から取り組んでいきたいと思います。 稲葉委員

基本理念を一人ひとりが意識できれば確実に暴力も、男女差別もない世の中になるのに。そう簡単にはいかないのはわかっていますが私たちは発信を続けること、身近なところから伝えることで少しずつ理想の社会につながってほしいと願います。 浅見委員